

R7 サマーコミュニケーション
スクールを実施しました！

＜スライドの内容＞

サマーコミュニケーションスクールを、
通称「サマコミ」と呼んでいます！

1. サマコミの目的と当日の流れ
2. 参加者数
3. 午前の内容
4. 参加者の感想紹介
5. 午後の内容
6. 参加者・通級生の感想紹介
7. まとめ・お知らせ

The poster is for the "Summer Communication School 2025". It features the title "Summer Communication School" in large red and blue letters at the top right. Below it, the date "2025年 8月8日(金)" (August 8, Friday) and time "10:00~11:45 / 14:30~16:30" are listed. A central box contains the schedule: "学習会の部 10:00~11:45 Zoom開催!" (Learning session department 10:00~11:45 Zoom meeting!) and "交流会の部 14:30~16:30 来校開催!" (Exchange session department 14:30~16:30 On-site meeting!). To the left, there's a box for "申込受付" (Application受理) with a QR code and the text "右記に次元コードから申し込みができます。7月31日(木)までに、お申し込みください。". To the right, there are two boxes for "参加対象" (Participants): "学習会の部" (Learning session department) and "交流会の部" (Exchange session department). Both boxes list requirements such as "★地域の小・中学校で学ぶろう・難問題 ★保護者 ★ろう・難問題を担当する先生方" (Students from local elementary and middle schools who want to learn, parents, teachers who handle difficult problems) and "★地域の小・中学校で学ぶろう・難問題 ○保護者 ○ろう・難問題を担当する先生方" (Students from local elementary and middle schools who want to learn, parents, teachers who handle difficult problems). A blue cloud-like shape on the right says "在籍校、難物級、ことばの教室の先生方も是非、ご参加ください！" (Please participate if you are a teacher at a school, have a difficult problem, or teach sign language). At the bottom, there's a contact section with a phone number, fax, and email address.

■問い合わせ先 ■ 平塚市立平塚第三学校 支援連携グループ サマコミ担当:名古 波野 花田
電話:0463-32-0913 Fax: 0463-32-1646
メール:hirarou-form-ad@pan-kanagawa.ed.jp

I. サマコミの目的と当日の流れ

サマーコミュニケーションスクールの目的

→地域の小・中学校で学ぶろう・難聴の児童・生徒と保護者が、
レクリエーションや学習会を通して交流を深めると共に、本人が
自己認識を深めていくきっかけとする。

当日の流れ

時間	内容
10:00～ 11:30	学習会の部 「先輩の話を聞く会」 zoom実施
14:30～ 16:30	交流会の部 「レクリエーション・情報交換会」 集合開催 ※レクリエーション・情報交換会はお子さんのみ。

2. 参加者数

学習会の部 「先輩の話をきく会」

<当日参加者数> 37名

(小学生5名、中学生2名、通級生4名、保護者14名、
関係者12名)

交流会の部 「レクリエーション・情報交換会」

<当日参加者数> 47名

(小学生14名、中学生2名、通級生9名、保護者17名、
関係者5名)

3. 午前の内容（一部抜粋）

- ・現在高校2年生（一昨年度本校通級卒業生）に、直接お話を
していただきました。
- ・現在高校1年生（昨年度本校通級卒業生）には、事前にお話
を伺った内容を代読しました。

<講師への質問(I)>

- ① 自己紹介 …※個人情報の為、ここでの紹介は省略。
- ② 今、楽しいこと！
- ③ 中学校→高校で変化したこと
- ④ 中学・高校の部活動について

3. 午前の内容（一部抜粋）

<講師への質問（2）>

- ⑤進学先を決める時に大事にしたこと
- ⑥高校入試について
- ⑦授業について（英語）
- ⑧リスニングにおける配慮について
- ⑨テストで悪い点数を取ってしまったら…次に向けて
どんな対策をするか
- ⑩周囲の人とのコミュニケーション方法について
- ⑪後輩に一言

先輩の話 ③「中学→高校で変化したこと」

- ・学校の勉強が難しくなった。ドレミファソラシドで遊んでいたら、いきなりベートーベンの曲を弾かされている位大変。
- ・遠方のため、登校が大変。眠気と戦っている。

- ・勉強量が増えた。中学と比べても難易度が上がり、学ぶ量も増えている。
- ・学校以外では、色々な所に住んでいる友達ができた。

先輩の話 ⑤「進学先決定にあたり大切にしたこと」

・通学距離と偏差値

・高校でも補聴援助システムが使えるかどうか

先輩の話 ⑧「英語のリスニングにおける配慮について(1)」

補聴援助システムの利用や別室受検などの配慮を受けるにあたり、音声がきこえにくくて問題が解けないのか、そもそも英語 자체が分からなくて解けないのかはっきりせず、配慮してもらうことを躊躇してしまいそうです。そのような経験はありますか？

・あるある！
それをはっきりさせるためには、一度配慮してもらうことに限るでしょう。
躊躇しない方がいいです。

先輩の話 ⑧「英語のリスニングにおける配慮について(2)」

- ・同じように考えたことがある。
- ・でも、難聴者が皆と同じやり方は、平等そうに見えて不公平。配慮されたやり方は、不公平感がありそうだけど、大人達がちゃんと考えて「いいよ」と言っているのだから、公平。
- ・皆と同じやり方は、きこえに合ったやり方ではない。配慮を受けることは不公平に見えるけど、力を発揮できて皆と同じ土俵に立てるので、公平。
そんなに気にしなくてよい。

先輩の話 ⑩「周囲の人とのコミュニケーション方法について」

- ・補聴援助システム（ロジャー）を使ってもらっている。
それでも、伝わらないことがあるので、スマートフォンに
文字で打ち込んでもらってコミュニケーションをとることも
ある。
(現在通っている高校では、スマートフォンの使用を禁止さ
れていないので、活用できる)

先輩の話 その他の質問①

1 学期の学校生活の中で、困った体験があれば教えてください。

- ・体育の時間に人工内耳を砂地に落としたこと。
それによって、人工内耳に砂鉄がくっついてしまい、大変
だった。
→激しい運動をする時には、ヘアバンドをつけるようになっ
た。

先輩の話 その他の質問②

今までの生活の中で困った事や乗り越えた事があれば教えてください。

困った事

- ・人工内耳を洗面台に落としたこと。
→トイレなど水場に行く時には、人工内耳を外すようになった。

乗り越えた事

- ・人工内耳の手術を経験して、(今まで少し遠慮していたが)自分から配慮を求められるようになったこと。

先輩の話 その他の質問③

難聴のことを自身はどのように考えていますか。

- ・人工内耳にする前（補聴器装用時）から、補聴機器をつけていない人との差を感じることはあまりなかった。
きこえにくいからといって、自分と他の人は違う、とはあまり考えないで欲しいと思う。
最初から「違う」を意識していたら、受け入れがたいものだったかもしれない。だから、きこえないことを自分と他人とを分けて考える基準にしないで欲しいと思う。

4. 参加者の感想（抜粋）

- ・（高校入試の）配慮申請でどんなものがあるか、参考になった。
- ・内耳手術をしたばかりの貴重なお話だった。
- ・参考になる情報が沢山あったことと、心情が聞けたことがとても良かった。
2人の高校生に受験や高校生活について教えてもらうことで、将来のことを見据えて考えようとすることができた。
- ・「ズルじゃないよ、まず試してみて！ 心配しなくて大丈夫だよ」これらの言葉に救われた思いがする子は、たくさんいるのではと感じた。
- ・「平等と公平」についての考え方には、配慮申請について考える上でとても参考になった。

5. 午後の内容（一部抜粋）

お子さんだけでなく保護者や関係者も参加ができる収集開催で、47名の来校があった。午後は本校の通級生が進行をした。

<午後のプログラム>

- ①開会式、午後の説明
- ②レクリエーション
 - ・だるまさんの一日
 - ・ジェスチャー伝言ゲーム
- ③情報交換会
 - ・難聴理解カルタづくり
- ④閉会式、振り返り

②レクリエーション(紹介)

本企画は、通級生が限られた時間の中で、みんなで楽しめる方法を考えた。

- ・だるまさんの一日
- ・ジェスチャー伝言ゲーム

「だるまさんの一日」ゲーム

「だるまさんがころんだ」のルールを使い、鬼が様々なシチュエーションのお題を出した。

ユニークなお題もあり、会場が一気に盛り上がった。

【お題の例】

- ・だるまさんが「勉強する」
- ・だるまさんが「寝る」
- ・だるまさんが「コサックダンスをする」

ジェスチャー伝言ゲーム

3グループに分かれて実施した。

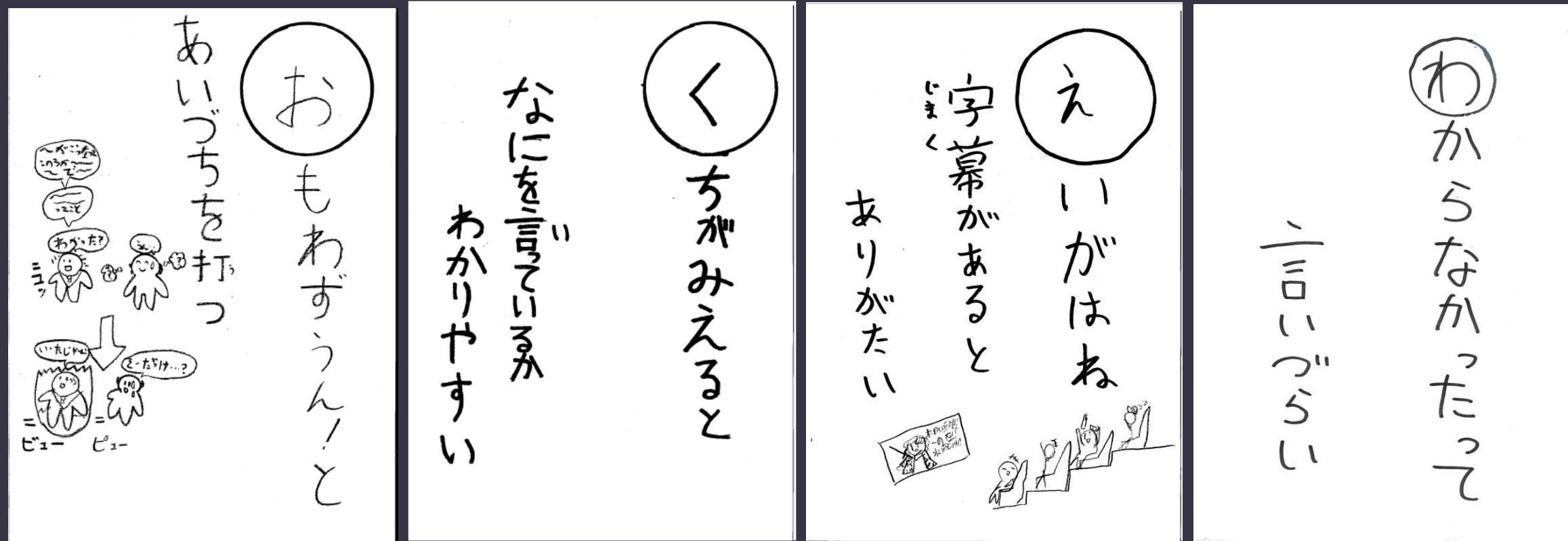
伝わりにくくてハラハラしつつ、正解した時には喜びの声が
上がっていた。

【お題の例】

- ・「鬼ごっこ」
- ・「ヘリコプター」
- ・「ゲームをする」

③情報交換会（「難聴理解かるたづくり」）

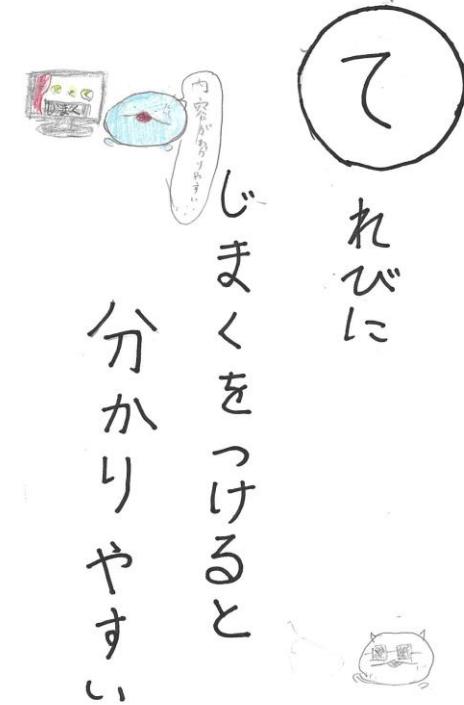
本企画は、通級生が日頃の通級指導でも親しんでいる「難聴理解かるた」を参考に、「マイ難聴理解かるた」を作って情報交換した。



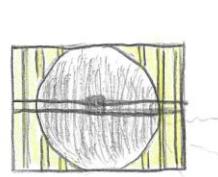
③情報交換会（「難聴理解かるたづくり」）

うんしいだ
覚えられると

ゆ
び もじを



て
れびに



英語いっはい
聞き取りにくい

リスニング

わかりやすい

くりかえすと

6. 参加者の感想（抜粋）

<レクリエーション>

(参加者)

- ・みんなで出来たので、楽しかった。
- ・色々な種類の「だるまさんの一日」があってとても楽しかった。
- ・伝言ゲームは、いろんな考えがあって、面白かったし楽しかった。

(通級生)

- ・みんなが積極的に参加してくれて、助かった。
- ・お互いが分かりやすかった。
- ・自分たちで計画したサマコミ。緊張したけど、楽しかった。

6. 参加者の感想（抜粋）

<情報交換会のこと>（参加者）

- ・同じような悩みをみんなも抱えていた。
- ・自分が困っていることを言えてスッキリした。
- ・同じように悩んでいる人がいてうれしかった。
- ・自分と同じ困っていることは、みんなもあるんだなと思った。
知れてよかったです。
- ・皆でたくさんお話しできてうれしかった。
- ・みんなで話せたので、いい思い出になると思います。
- ・同じように耳がきこえないけど、地域の学校に行っている人がいて
安心した。

6. 参加者の感想（抜粋）

<情報交換会のこと>（通級生）

- ・「あるある」がめっちゃあって、共感の嵐。
- ・みんなの「あるある」に共感できるものがあったり、初めてのものもあって有意義な時間だった。
- ・みんな同じような悩みがあって、普段きこえにくい子とあまり交流しないから、たくさん話せてよかったです。
- ・みんなの難聴に関する事がきっかけで、みんなもこんな悩みがあるんだな、と参考になった。

3 まとめ・お知らせ

多くの方にご参加いただき、縦横の交流が広がったように思います。

ご理解・ご協力、ありがとうございました！

年1回の交流ですが、このご縁を大切に来年も集まれたらと思います。

本校通級指導教室でも、9月の集団学習の中で今年度の反省を行い、
来年に活かしていきたいと思いますので、ぜひ来年もご参加ください！

来年のサマーコミュニケーションスクールは、8月7日に実施予定です！

詳しくは7月下旬頃、平塚ろう学校のHPにご案内が掲載されます。

皆様のご参加を今から心待ちしております。

ありがとうございました！

平塚ろう学校
通級指導教室担当 一同